

第1学年1組 生活科学習指導案

令和3年7月15日(木)3校時
指導者 西尾 牧子

1. 単元名(教材名) 「きせつとあそぼうーはるからなつー」

2. 単元目標

年間を通して身近な自然にふれながら、身体全体を使ったり、自然を使ったりして工夫しながら遊ぶ。活動を通して自然の不思議さ、季節の変化に気づき、遊びや生活を楽しもうとする。

3. 単元計画(全14時間)

- 第1～3時 はるやなつをみつけよう
- 第4～6時 はるやなつをかんじよう
- 第7～9時 あめのひをたのしもう(1/3本時)
- 第10～13時 なつをもっとたのしもう
- 第14時 あそんだことをふりかえろう

4. ICT活用の分類

| | |
|-------|---------------------------------------|
| ICT機器 | タブレット端末(一人一台) |
| アプリ | カメラ, ロイロノート |
| 機能 | 写真・動画の貼付, 録音の追加, 写真の拡大・縮小・移動・書込み・削除など |
| 活用場面 | 記録, 表現活動 |

5. 本時におけるICT活用による学びの「しやすさ」とは

「あめのひをたのしもう」の学習では、雨の日や雨上がりの日に直接自然に触れる体験をしたり、それらを表現したりする学習活動を行う。直接自然と関わる体験と、それを表現する活動を繰り返すことを通して気づきの質を高めていくことをねらいとしている。



本時は、タブレットを記録ツールとして利用する。一人一台タブレットを持ち、写真や動画を撮影したり、ロイロノートの機能を用いて気づきを表現したりしていく活動をICT活用場面として設定した。「しやすさ」としては、1点目に、記録と表現の容易さを挙げる。これまで、子供たちにとっての記録ツールは発見カードが主流であった。しかし、気づきがあってもその場を離れると記憶が曖昧になってしまうこと、気付いた内容を正確な言葉や絵で表現すること、書くことそのものに困難さが見られる子供たちがいることなどの課題もあり、短時間で的確な記録を終えることへの難しさが見られていた。時間的な余裕が無いために、気づきが多い子供は全てのことを表現できずに終わることもあった。また、存分に時間を確保できたとしても、健康管理の面から見たとき、夏の暑い時期に長時間にわたる野外活動はリスクを伴うため難しい側面があった。本時は1人1台のタブレットを用いる。活動前半では、写真や動画の撮影を行うが、気付いたその場でその瞬間を記録したり、気付いた内容を音声で動画に吹き込んだりすることが可能なため、書くことに時間のかかる1年生にとって短時間で記録しやすいという利点がある。また、気づきの内容に合わせて記録ツール(写真・動画)を選ぶことが可能なため、表現の幅が広がることが期待できる。2点目に、集積データを用いる利点を挙げる。生活科は、長期的に扱う単元を同時進行で学習する特徴を有している。しかし、それに起因して、時系列が未獲得な発達段階とされている低学年にとっては、記憶が曖昧になってしまっていることが多い。季節の移ろいは一定の期間を空けて繰り返し活動することによって感じられるものであるが、期間を空けて学習が再開するという点においては、各季節での表現活動を充実させておく必要があり、そのために多くの時間を費やしていたという経緯もある。今回、写真や

動画を手軽に短時間で集積保存することによって体験活動そのものに多くの時間を割り振ることが可能になるとともに、後に振り返ったときに季節の特徴や変化の様子を時系列で捉えたり、自分との関わりの中で根拠をもとに思考したりしやすくなる。自分の集めたデータを容易に振り返ることができるため、自分との関わりの中で思考するという生活科の特徴に寄り添った学習が展開できると考えられる。

6. 本時目標

雨の日や雨上がりの様子をカードに表現する活動を通して、天候によって自然や生活の様子が変わること、自然の不思議さに気付いている。(知識及び技能)

7. 本時の展開



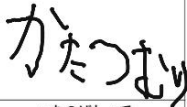

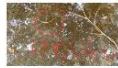




| 学習活動 ○発問 ・予想される子供の反応 | 指導上の留意点と評価 ☆ICT活用について ◎指導上の留意点 評：評価 |
|---|--|
| 1. これまでの学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「あめのひの すてき」びんごかあどを つくろう。 </div> | ◎春の学習で、はるみつけビンゴをしたことを振り返る。 |
| 2. 雨の日（雨あがり）の様子を予想し、外へ見付けに行く。 ○雨の日や、雨上がりにしか見付けられないものはあるかな。 ・みずたまり ・かたつむり ・にじ ○雨の日のすてきを見付けに行こう。 ・クモの巣の雫を写真に撮ろう。 ・雨の落ちる音を動画で撮ろう。 ・雨の川に葉っぱが流れる様子を動画に撮ろう。 | ◎雨の日の自然物に限定することで晴れの日と比較できるようにする。 ◎条件として場所や使う感覚器官を示し、見る視点とさせる。 ◎写真・動画機能を使用してよいことを伝えることで、気付きについての記録方法を自分で選択できるようにしておく。 ☆見付けたものを写真や動画で記録する。 |
|  |  |
| 3. ビンゴカードを作る。 ○見付けた「すてき」をビンゴカードにしてみましょう。 ・木の下では雨の音が大きかった。 ・長靴をはいたり傘をさしたりした。 ・水たまりにアメンボが出てきた。 | ◎カードに写真や動画を載せる方法を説明する。 ☆個人で撮影した写真・動画をロイロノートを使って、画面のビンゴカードに整理する。 評：雨の日ならではの自然の様子や、天候によって生活の様子が変わることに気付いている。（行 |

動観察・発言・作成データ)



あめのひの すてき びんご

11 ばん

| みずたまりで | おと | いきもの |
|--|--|--|
|  |  |  |
| ふくそう | きのしたで | つちのぼしょで |
|  |  |  |
|  |  |  |

4. 本時の学習を振り返り、次時につなげる。

○どんなことに気づきましたか。

- ・雨の日の「すてき」には音が多い。
- ・生き物は、晴れの日と雨の日で違っている。
- ・水たまりで遊びたいな。

◎次回は、見つけた「すてき」を生かした遊びを考えたりしたりすることを伝え、次時への意欲付けを図る。